

週日の説教

金 大烈 神父 2009年12月31日(木)

《一年間の感謝の祈り》

皆様、今日は、わざわざ電気を消すようお願いをしました。その理由をお話しします。

今、十字架が見えますね。十字架の下に何が置いてありますか。ご聖体を入れるところがありますね。それを何と言いますか。ご聖体を入れる器を日本語で『ご聖櫃』と言います。

さあ、皆様は一年間、いろいろなことがあったと思います。電気を消して、『ご聖櫃』の前で思い出してみてください。まず、一番辛かったことを思い出してください。そして一番嬉しかったことも思い出してください。次に、本当に悲しかったことも思い出してください。“感謝しなければならない”と思ったことも思い出してみてください。希望を失ったと思ったこと、“とんでもない過ちを犯してしまった”と思ったことも思い出してみてください。

そして、それら全部を思い出してから、まず感謝の心でイエス様に祈ってください。その後、“来年は、私はこのような姿で生きられるように頑張ります。導いてください。”という願いを祈ってください。

さあ、時間を差し上げますので黙想をしましょう。

- 黙 想 -

ありがとうございました。

さあ、代表として、私が祈ったことを紹介させていただきます。

まず、一年間一人の司祭として皆様の先頭に立ち、導かなければならなかったことは、やはり荷が重かったです。しかし、いろいろな事があった時にも神様が素晴らしい結果を見せてくださったことを本当に感謝致します。そして今年のこの感謝の心で、来年はもっと強く皆様を愛します。そういう気持ちで来年を迎えたいと思います。

それとともに、皆様をお願いしたいことがあります。先ほど、十字架の下のご聖体が置かれているところを何と言いますか、と質問しましたね。その時、私たちは『ご聖櫃』という言葉を知りました。

新年になっても皆様は、やはりいろいろな難しさにぶつかると思います。悲しいことも起こると思います。自分の力ではどうすることもできない事件が起こるかもしれません。そして嬉しくて、嬉しくて、たまらない時もあるかもしれません。いつ、どんな状況でも、皆様が走って行って祈れる場所、休める場所、慰められる場所、力をいただける場所として、『ご聖櫃』のあるこの聖堂を愛して下されば神様への一番大きい新年のプレゼントになるのではないかと思います。

「ここは、『私の聖なる家』であること」をいつも意識してください。そうすれば、皆様が本当に疲れ果てて、どうすることもできないときでも力を受けられると私は信じます。

ありがとうございました。